

2025.1.9

令和6年度 山口県新たな時代の人づくり協働推進事業

車いす・GIS等を活用した 災害時率先避難誘導ワークショップ レポート

一般社団法人やまぐちGISひろば
理事・事務局長 弘中 淳一



【開催要項】(参加者) 56名 (うち中学生6名)

- ① 日時：2024/12/15(日) 10:00～16:00
- ② 場所：(講演、討議等) 菊川ふれあい会館アブニール
(まち歩き場所) 下関市菊川地区の計3箇所(田部、岡枝、檜崎)
- ③ 主催：一般社団法人やまぐちGISひろば
- ④ 後援：下関市、下関市教育委員会、下関市社会福祉協議会(市社協)、
山口県子ども会連合会、大阪大学先導的学際研究機構
住民と育む未来型知的インフラ創造部門未来インフラ創造拠点
- ⑤ 協力：下関市立菊川中学校、はあとふりい下関、菊川地区まちづくり協議会、
菊川地区民生児童委員協議会、菊川地域コア会議参加団体、
ダスキンヘルスレント下関ステーション

1. オリエンテーション(菊川ふれあい会館アブニール 1F 多目的ホール)

【司会】 (一社)やまぐち GIS ひろば 理事・事務局長 弘中淳一



【講演】 菊川地区の防災について (一社)やまぐち GIS ひろば 理事長 三浦房紀



【講演】 防災教育 AR アプリのご紹介 大阪公立大学 教授 三田村宗樹氏



【車いす・歩行器体験講習】

(車いす) [はあとふりい下関](#) 代表 山本千栄子氏

(歩行器) ダスキンヘルスレント下関

はあとふりい下関は、小中学校における車いす体験福祉講座、一般向けの車いすマイスター養成講座の実施等、精力的に活動しています。当日は、計4名のスタッフが来てくださり、本講習も滞りなく行うことができました。

歩行器については、ダスキンヘルスレント下関様より、同じく計4名スタッフが来てくださりました。厚く御礼申し上げます。



山本代表



2. まち歩き（車いす避難・防災上の危険箇所情報収集）

参加者を3地区5班に分け、まち歩きを実施しました。

1班約12名とし、以下のサポート体制にて実施いたしました。

みなさま、ご協力ありがとうございました。

- ・リーダー：菊川地区まちづくり協議会を中心とした地元の方
- ・サブリーダー：下関市社会福祉協議会本所、菊川支所
- ・車いすサポート：はあとふりい下関
- ・歩行器サポート：ダスキンヘルスレント下関
- ・危険箇所情報の写真記録：[\(株\) ASTRONETS](#)

【まち歩き地域】下関市菊川地区



【まち歩き】 田部地区 (縮尺 1/5,000)



(水害時危険) 蓋のない側溝



(地震時危険)

瓦倒壊、火災



(水害時危険)

過去浸水箇所



ホース格納庫



(地震時危険)

傾いた電柱



(車いす避難時注意)

狭い、ガタガタ道



【まち歩き】 岡枝地区（縮尺 1/5,000）



(地震時危険) ブロック塀倒壊



(地震時危険) 瓦倒壊、火災



(水害時危険) 過去浸水箇所



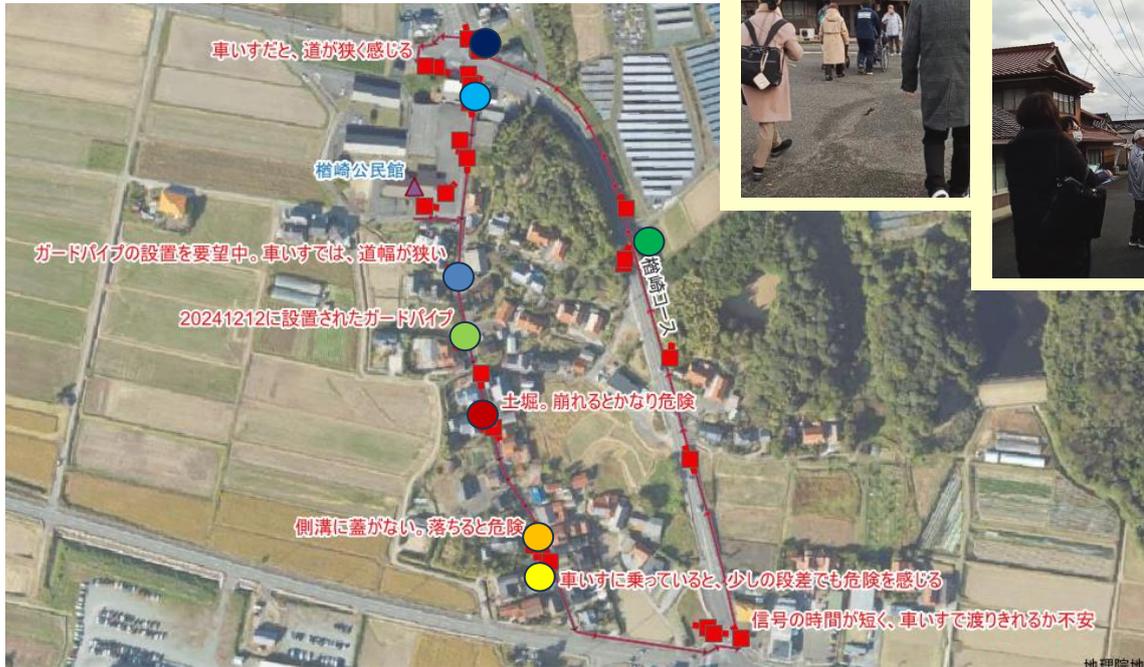
(水害時危険) 蓋のない側溝



(車いす避難時注意) 交差点の段差



【まち歩き】 檜崎地区 (縮尺 1/3,000)



(水害時危険) 蓋のない側溝



(地震時危険)

土壁の倒壊



(水害時危険)

過去浸水箇所



まち歩き3日前
鉄柵が完成

(地震時危険)

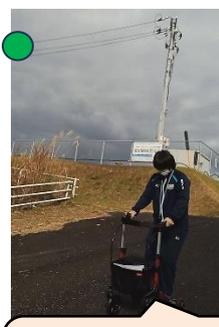
瓦倒壊、火災



ARアプリで
火災を警告

(電動歩行器

効果体験)



下り坂は自動で
ブレーキをかける

(車いす避難時注意)

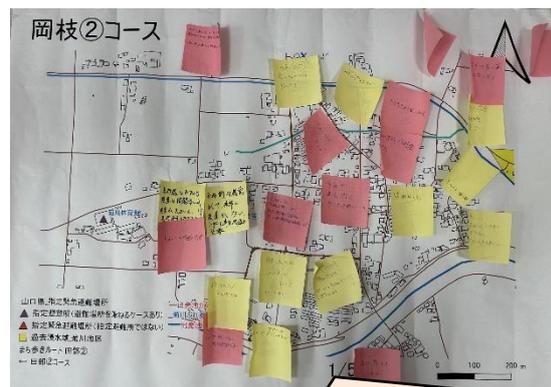
グレーチング



車いすのタイヤがはまり、
動けなくなる危険あり

3. ワークショップ（菊川ふれあい会館アブニール 2F 小中ホール）

午後からのワークショップは、各5グループに分かれて危険箇所の確認および発表内容の討議を行いました。パソコンのGISに危険箇所を入力しながら、進めました。

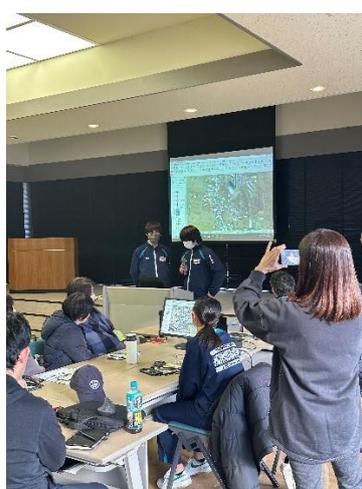


5班中、2班は、GISを使用するのではなく、
大判地図に付箋紙とペンで、危険箇所等を記載する
従来方式のDIG(Disaster Management Game:防災図上訓練)
として実施しました。

4. 発表（菊川ふれあい会館アブニール）

GIS を活用し、各地区の災害危険箇所、車いす歩行困難箇所等、発表しました。

発表は、GIS を活用した 3 つの班は中学生、大判地図を活用した 2 つの班は地域の方が担当いたしました。



中学生からは、車いす・歩行器体験、防災上の危険など、以下の意見をいただきました。

- ・横断歩道の線が消えかかっていて危険
- ・蓋のない側溝は夜間や浸水時に足を取られる危険あり。柵の設置など早めの対処要
- ・(特に) 檜崎地区は、道路舗装のつぎはぎが多く、車いす等通行支障あり

地域の方からは、地域防災に関わるコメントが嬉しかったです。

- ・倒壊しそうな家の周辺など危険箇所は、避難経路から避けるよう、自治会や班単位で情報を共有することが重要
- ・予測可能な台風、豪雨は事前の情報収集が重要。取得方法も地域で共有したい

【所感】

募集 30 名を大幅に上回る 56 名のご参加をいただきました。一人も怪我なく、事故なく終えたこと、ホッとしています。中学生の参加は 6 名に留まりましたが、声掛けに尽力くださった、菊川中学校の校長先生、また下関市社協菊川支所の支所長さん職員さん、本当にありがとうございました。

運営においては、下関市社協本所にて月一で開催されている“菊川町支え合い推進会議”に取り上げていただき、地域の協力を仰ぐことができました。菊川地区民生児童委員協議会、菊川地区まちづくり協議会、下関市菊川豊田地域包括支援センターを始め、地域関係者のみなさま、本当にありがとうございました。「本ワークショップで得た情報を地域のまちづくりに生かしたい」とのお言葉もいただき、嬉しい限りです。ぜひ、当方でモバイル GIS を構築し、菊川町のまちづくりに生かせるようにしたいと考えています。

発表の最後に、中学生から「中学生を中心として発表したり、車いすを使えたりしてとてもいい経験ができました。このことを生かして、これから、菊川町を大切にしたいと思いました」と一言いただき、嬉しく思いました。菊川町を愛する子ども達が、成長の後、菊川町で働き、菊川町で活躍してほしいと切に願います。

最後に参加者、スタッフのみなさまに、改めて感謝申し上げます。

ありがとうございました。

以 上